



2021年7月16日

各 位

上場会社名 リョービ株式会社
 代表者 代表取締役社長 浦上 彰
 (コード番号 5851)
 問合せ先責任者 執行役員 経営企画本部副本部長
 兼 財務部部長 有廣 弘
 (TEL 03-3501-0511)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年2月12日に公表いたしました2021年12月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきまして、最近の業績動向等を踏まえ、下記の通りとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

(1) 2021年12月期第2四半期(累計)連結業績予想(2021年1月1日~2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	93,500	500	500	300	9.27
今回発表予想(B)	95,500	△700	0	0	0.00
増減額(B-A)	2,000	△1,200	△500	△300	
増減率(%)	2.1	—	—	—	
(参考)前期実績 (2020年12月期第2四半期累計)	77,700	△3,551	△2,775	△1,668	△51.55

(2) 2021年12月期通期連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	198,000	5,500	5,500	4,300	132.84
今回発表予想(B)	211,000	2,300	3,000	2,200	67.97
増減額(B-A)	13,000	△3,200	△2,500	△2,100	
増減率(%)	6.6	△58.2	△45.5	△48.8	
(参考)前期実績 (2020年12月期)	170,973	△1,789	△35	△697	△21.54

2. 修正の理由

2021年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、国内外の各地域で半導体不足による自動車生産の調整で当社ダイカスト事業の販売数量は影響を受けました。しかしながら、お得意先からの受注は回復しつつあることに加え、原料（アルミ）価格の高騰を受け、売上高は当初の想定から増加する見込みです。一方で、損益については、当初の想定では原料価格の高騰は当会計期間中に落ち着くと見込んでおりましたが、上昇は今なお続いており、原料価格上昇の販売価格への転嫁が後追いとなるため、減益となる見込みです。

なお、住建機器事業及び印刷機器事業の業績につきましては、当初の想定通りに進捗しております。

また、2021年12月期通期の連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績予想の修正を踏まえ、原料価格の上昇傾向が第3四半期以降も続くことを見込み、前回発表時の予想と比較し、増収・減益となる見通しです。

上記予想は現時点で入手可能な情報に基づき算定したものであり、今後、事業環境の変化等により大きく変動する可能性があります。

以 上